

静岡県月例経済報告

(平成30年8月号)

……平成30年6月を中心とした県内経済のすがた……

No. 508

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	14
・ その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成30年6月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成30年6月を中心とした静岡県の景気は、回復しつつある。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外の政治経済情勢に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、増加の動きがみられる。
- ・ 輸出は、増勢が一服している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(6月)は、百貨店が6か月ぶりに前年実績を上回ったものの、スーパーが4か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも、6か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(6月)は、家電大型専門店、コンビニエンスストアがいずれも2か月ぶり、ドラッグストアが16か月連続、ホームセンターが3か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(6月)は、軽自動車3か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車が9か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも2か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(6月)は、持家、貸家、分譲住宅のいずれも3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(6月)は、4か月ぶりに前年実績を下回った。

「設備投資は、増加の動きがみられる」

日銀短観(平成30年7月2日)の平成30年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(6月)は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

「輸出は、増勢が一服している」

「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（6月）は、二輪自動車類が5か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が4か月ぶり、エアコンが2か月ぶり、自動車は3か月連続、自動車の部分品、科学光学機器がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（6月）は、木材が6か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品、自動車の部分品がいずれも3か月連続、パルプが8か月連続、紙類及び同製品、原動機がいずれも2か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,053億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

鉱工業生産指数（5月）は、電気機械が4か月ぶり、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械が3か月連続、輸送機械が5か月ぶり、化学、パルプ・紙・紙加工品がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回ったことから、総合でも2か月連続で前年水準を上回った。また、2か月連続で前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数（5月）は、総合では8か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

「雇用情勢は、改善の動きを続けている」

有効求人倍率（6月）は1.72倍で、前月を0.02ポイント上回った。また、53か月連続で1倍を上回った。なお、16か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（6月）は、59か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（5月）は、6か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った」

県内金融機関の貸出残高（6月）は、前年同月比 0.1%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（6月）は、前年同月比 4.9%減と前年実績を下回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（7月）は、件数は16件（前年同月比 40.7%減）、負債総額は20億9,900万円（同 33.5%減）と、いずれも前年実績を下回った。

<トピックス> 無人航空機によるスマート農林業の実現

1 要旨

静岡県農林技術研究所は、農林業現場の担い手の減少と高齢化に対応するため、ドローンなどの無人航空機を活用し、樹園地や森林の状態をセンシングする技術 (※1) や、省力的な管理技術の研究開発に取り組んでいます。

※1 センサー技術を活用し、樹園地や森林等の状態を把握する技術

2 具体的な取組内容等

(1) 無人航空機活用の背景

農林業の現場は、担い手が減少する一方で、雇用を中心とした法人化や大規模化の傾向にあります。生産性を向上するためには、これまで、担い手が時間をかけて行っていた成育状況等の把握や、手作業で行ってきた農薬散布等の作業を、無人航空機やICT等の技術を活用して、効率的・省力的に行う必要があります。

(2) 無人航空機を活用したセンシング技術の開発事例

「果樹」・・・空から撮影した画像の解析によるみかんの収量予測

「茶」・・・茶の病害虫被害を判別する技術

「林業」・・・松くい虫による被害を受けた木の判別技術

(3) 無人航空機を活用した省力的な管理作業

「果樹」・・・農薬や肥料の散布作業の省力化

「林業」・・・無人航空機の自動航行による薬剤の散布技術

(4) 今後の方向性

- ・ 無人航空機の自律航行における安全性の確保
- ・ 無人航空機の機動性を活かした広域に渡る産地情報の収集
- ・ 「データ駆動型 (※2)」手法により「気象変動に負けない農林業の実現」に寄与

果樹園の農薬散布・施肥の超省力化



海岸防災林の病害虫防除



超省力化

防除作業	230時間/ha/年	→	1時間/ha/年
施肥作業	70時間/ha/年	→	1時間/ha/年

薬剤散布コスト ▲40%

※2 取得・集積したデータを用いて仮説を立てたり、検証に取り組む手法

※3 噴霧する農薬液を静電気で帯電させ、葉への付着効率を高める技術

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

6月 = 33,375百万円

*前年同月比： 0.1%減

(県内3百貨店、133スーパー合計)

<概況>

6月の大型小売店販売額は33,375百万円で、前年同月比 0.1%減となり、6か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比 2.1%増）が6か月ぶりに前年実績を上回ったものの、スーパー（同 0.6%減）が4か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも6か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品（前年同月比 0.4%増）が6か月ぶり、身の回り品（同 1.4%増）が4か月ぶりに前年実績を上回ったものの、家庭用品（同 6.1%減）が9か月連続で前年実績を下回った。飲食料品は前年実績と同水準だった。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.3%増と、4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	34,063	42,544	36,380	30,823	33,271	32,240	32,970	33,375
前年同月比(%)	▲1.5	0.1	▲0.9	▲0.4	▲2.8	▲2.8	▲3.6	▲0.1
うち百貨店(%)	0.9	0.8	▲2.4	▲1.7	▲2.5	▲2.7	▲6.0	2.1
スーパー(%)	▲2.2	▲0.1	▲0.6	0.0	▲2.9	▲2.9	▲3.0	▲0.6
(参考1)全国前年同月比(%)	1.4	1.1	0.4	0.6	0.1	▲0.8	▲2.0	1.5
うち百貨店(%)	3.6	0.8	▲0.1	0.3	0.9	1.5	▲1.2	4.0
スーパー(%)	0.2	1.3	0.7	0.7	▲0.4	▲1.8	▲2.4	0.3
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.6	1.3	0.1	0.8	▲1.5	▲2.4	▲3.1	0.3

(注) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣料品	▲4.6	0.7	▲5.0	▲0.8	▲1.3	▲2.8	▲6.3	0.4
うち紳士服・洋品	▲4.6	2.0	▲2.7	▲3.5	▲5.0	▲0.3	▲10.3	▲2.3
婦人・子供服・洋品	▲4.0	0.6	▲6.1	0.9	1.0	▲3.4	▲4.7	2.3
身の回り品	▲3.5	0.0	▲1.6	2.0	▲3.8	▲7.4	▲2.6	1.4
飲食料品	▲1.6	▲0.1	▲0.2	▲0.3	▲2.2	▲2.7	▲2.9	0.0
家庭用品	▲4.6	▲5.1	▲1.9	▲2.8	▲4.1	▲5.4	▲1.7	▲6.1
うち家庭用電気機械器具	▲6.2	▲14.7	▲10.1	▲6.9	3.5	1.7	9.0	17.5

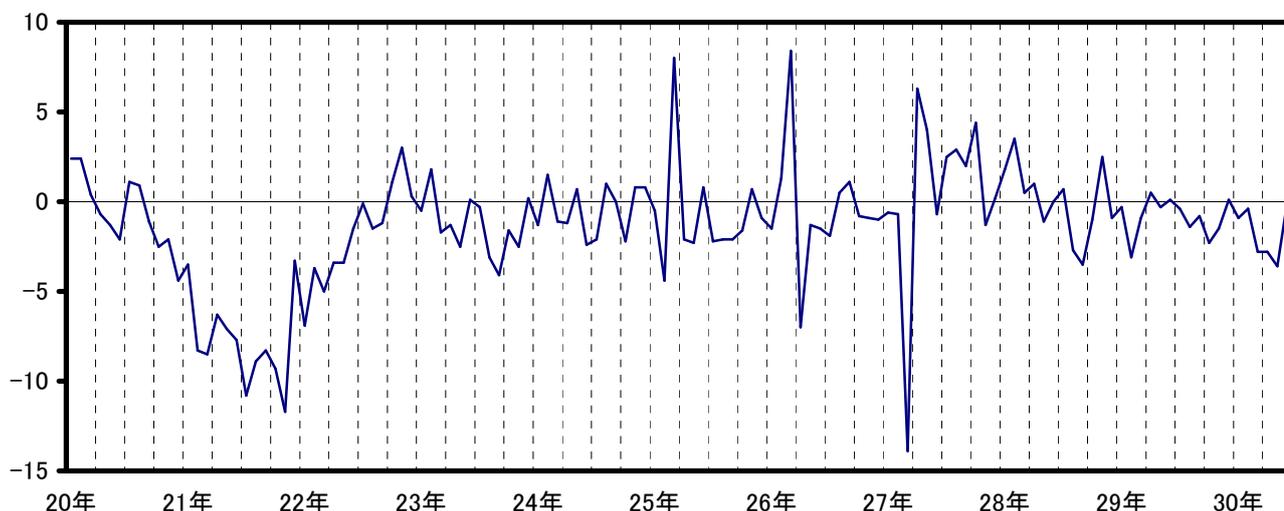
(注) 店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

6月 = 66,876百万円

*前年同月比： 3.1%増

(県内94家電大型専門店、1,712コンビニエンスストア、473ドラッグストア、103ホームセンター合計)

<概況>

6月の専門量販店等販売額は66,876百万円で、前年同月比 3.1%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店（前年同月比 9.8%増）、コンビニエンスストア（同 0.9%増）がいずれも2か月ぶり、ドラッグストア（同 4.9%増）が16か月連続、ホームセンター（同 0.1%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	64,592	76,204	64,875	58,880	68,567	66,761	67,364	66,876
前年同月比(%)	2.9	3.4	2.4	2.3	1.8	3.0	▲0.8	3.1
うち 家電大型専門店(%)	5.2	7.3	5.0	4.7	▲0.2	2.3	▲0.6	9.8
コンビニエンスストア(%)	0.3	0.5	0.5	▲0.1	1.1	1.2	▲1.2	0.9
ドラッグストア(%)	6.6	6.5	5.9	6.1	4.3	7.4	3.1	4.9
ホームセンター(%)	0.9	1.2	▲2.2	▲0.7	0.8	▲0.2	▲7.6	0.1
(参考)全国前年同月比(%)	3.6	3.8	2.9	2.9	3.4	3.0	0.3	3.9

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

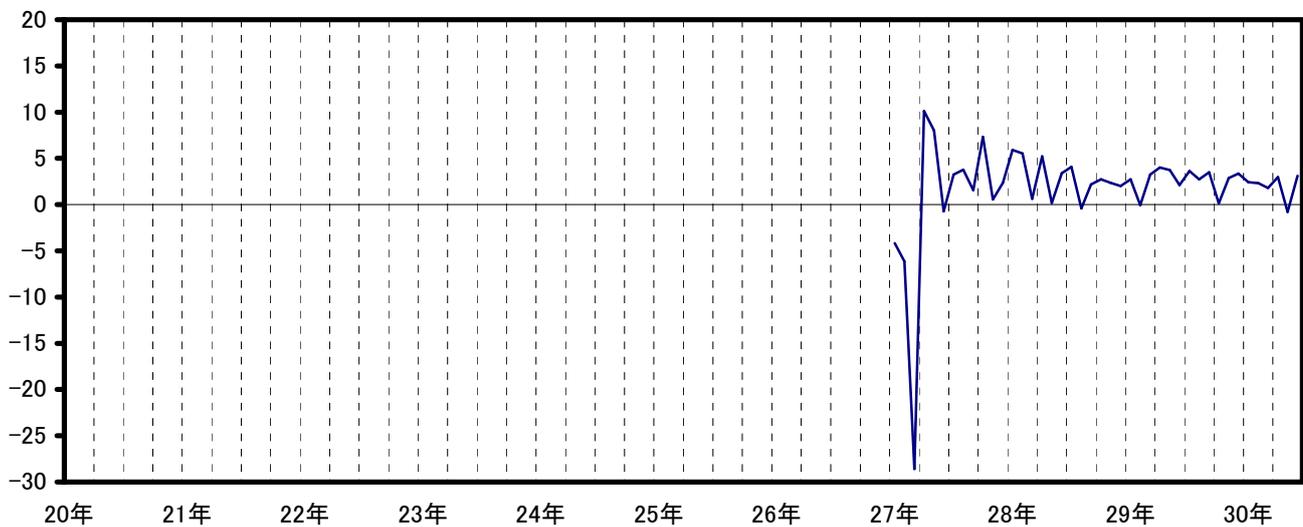
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

6月 = 15,629 台

*前年同月比： 3.0%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

6月の自動車(新車)新規登録台数は15,629台(前年同月比 3.0%減)となり、2か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、軽自動車(前年同月比 6.2%増)が3か月連続で前年実績を上回ったものの、乗用車(同 9.0%減)が9か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
登録台数(台)	13,434	13,048	15,357	17,887	23,209	11,883	12,332	15,629
前年同月比(%)	▲ 1.5	▲ 3.7	3.0	▲ 0.1	▲ 4.9	1.0	▲ 0.5	▲ 3.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 2.7	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 2.8	▲ 3.6	2.6	▲ 1.5	▲ 5.3

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

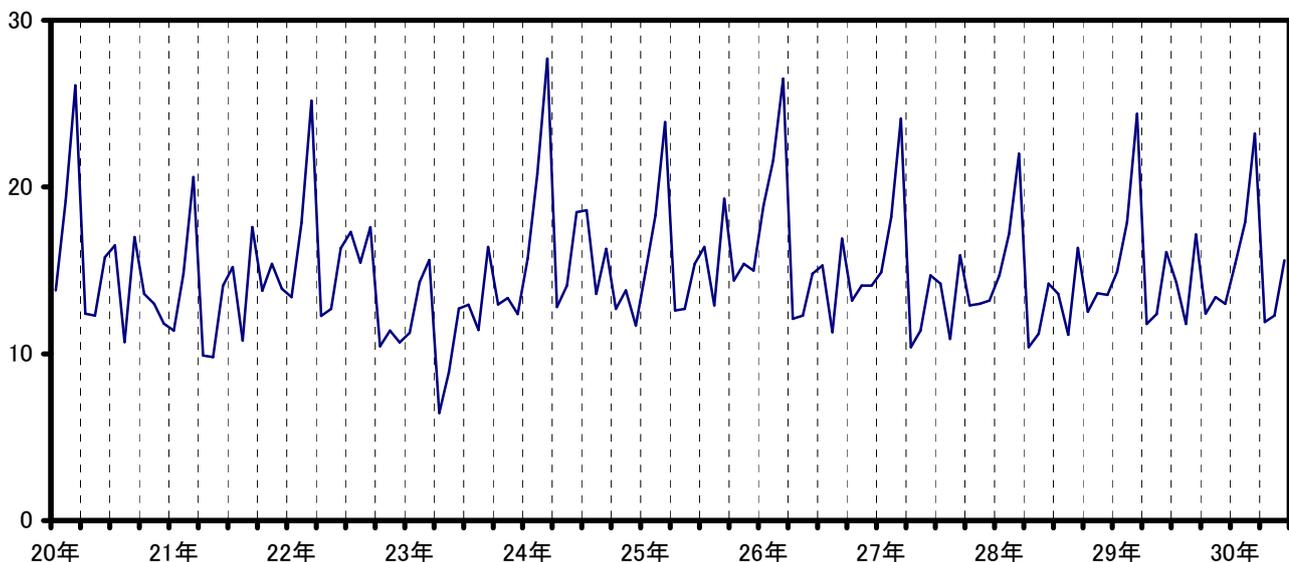
	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全乗用車	▲ 1.5	▲ 3.7	3.0	▲ 0.1	▲ 4.9	1.0	▲ 0.5	▲ 3.0
乗用車	▲ 4.3	▲ 6.5	▲ 6.7	▲ 1.5	▲ 7.7	▲ 2.7	▲ 1.4	▲ 9.0
軽自動車	2.4	0.4	16.6	1.7	▲ 0.9	5.6	0.8	6.2

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

6月 = 1,489 戸

*前年同月比： 32.6%減

<概況>

6月の新設住宅着工戸数は1,489戸で、前年同月比 32.6%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 25.4%減）、貸家（同 46.7%減）、分譲住宅（同 23.2%減）のいずれも3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

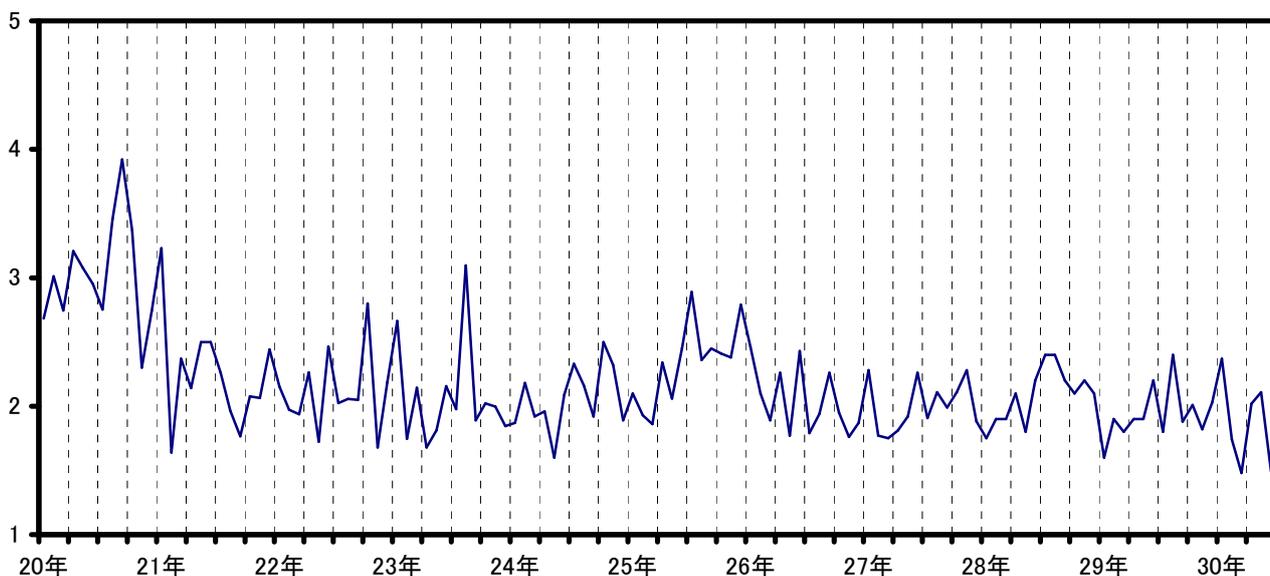
	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
戸数 (戸)	1,820	2,032	2,369	1,742	1,483	2,015	2,108	1,489
前年同月比 (%)	▲ 17.8	▲ 2.0	44.0	▲ 9.8	▲ 17.9	7.0	8.8	▲ 32.6
うち持家 (%)	▲ 12.0	▲ 0.9	21.2	▲ 24.3	▲ 3.4	5.3	4.5	▲ 25.4
貸家 (%)	▲ 35.4	▲ 0.4	34.5	▲ 7.9	▲ 22.9	8.6	9.0	▲ 46.7
分譲住宅 (%)	11.2	▲ 8.8	124.9	35.3	▲ 37.2	11.1	21.8	▲ 23.2
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 0.4	▲ 2.1	▲ 13.2	▲ 2.6	▲ 8.3	0.3	1.3	▲ 7.1

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

6 月 = 30,461百万円

*前年同月比： 6.8%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

6月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は30,461百万円で、前年同月比 6.8%減となり、4か月ぶりに前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は707件で、前年同月比 1.9%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
金額（百万円）	13,967	13,064	9,580	8,327	16,358	61,467	30,683	30,461
前年同月比（%）	▲ 1.7	▲ 21.4	▲ 8.4	▲ 33.2	1.7	11.6	53.1	▲ 6.8
年度累計前年同月比（%）	2.7	1.1	0.7	▲ 0.8	▲ 0.7	11.6	22.6	13.7
件数（件）	667	694	369	185	195	586	564	707
前年同月比（%）	1.5	▲ 10.1	▲ 15.0	▲ 42.4	▲ 17.0	18.4	20.8	▲ 1.9
年度累計前年同月比（%）	0.4	▲ 0.8	▲ 1.7	▲ 3.4	▲ 3.8	18.4	19.5	10.3

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

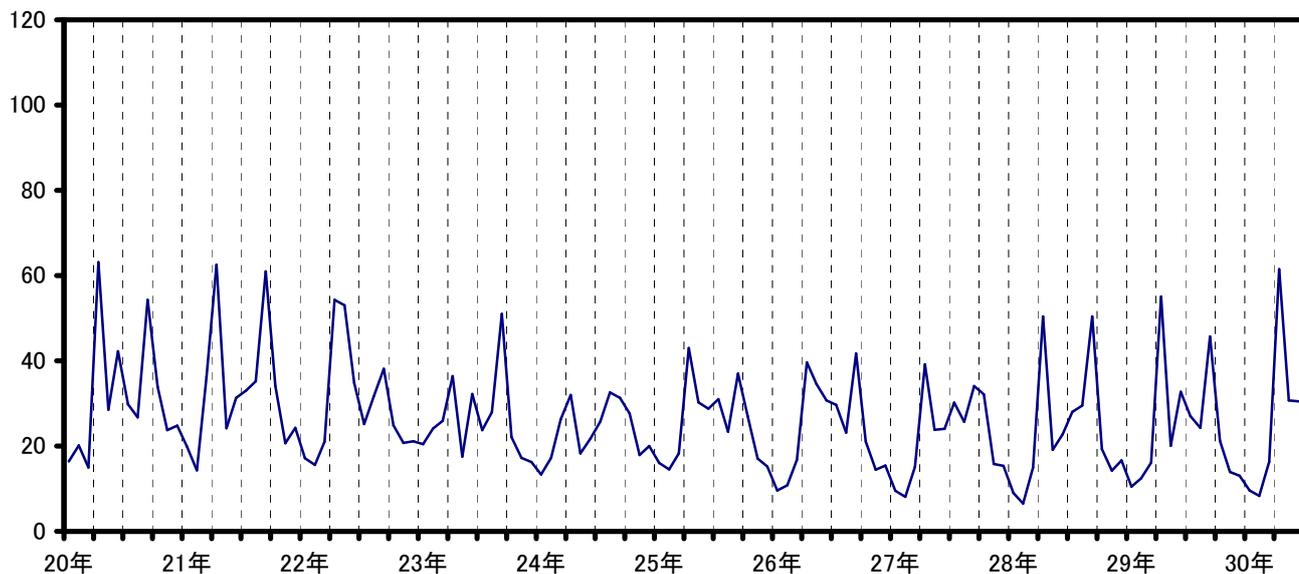
	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国	108.8	▲ 99.1	▲ 63.5	▲ 35.2	▲ 44.9	9.2	122.3	113.4
独立行政法人等	▲ 59.0	113.4	77.7	758.0	1,746.6	▲ 8.5	61.9	▲ 65.3
県	▲ 24.9	▲ 6.3	67.2	▲ 73.7	▲ 23.0	▲ 2.0	8.7	4.3
市 町	11.3	▲ 21.2	▲ 27.7	▲ 29.6	54.2	70.0	13.6	▲ 17.3
地方公社	21.0	▲ 80.9	—	—	—	204.5	1,292.4	—
その他の	▲ 45.7	▲ 81.8	▲ 63.2	389.1	▲ 96.0	▲ 5.1	—	2.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成29年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業、非製造業、全産業の全てにおいて増加した。

平成30年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 12.3%増）で増加、非製造業（同 0.4%減）で減少し、全産業（同 6.4%増）では増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 14.4%増）、非製造業（同 1.7%増）、全産業（同 11.1%増）の全てにおいて増加する計画となっている。

6月の着工建築物床面積（非居住用）は136,094㎡で、前年同月比 22.8%減となり、3か月に前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	(▲6.9) 2.8	(▲1.9) 6.4
	全国	(0.4) 4.4	(9.0) 7.9
製造業	県	(▲11.3) 3.2	(▲4.6) 12.3
	全国	(▲0.2) 6.3	(9.2) 16.0
非製造業	県	(▲1.2) 2.3	(2.0) ▲0.4
	全国	(0.7) 3.4	(9.0) 3.3

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		29年度 (実績)	30年度 (計画)
全産業	県	(▲5.3) 5.3	(2.4) 11.1
	全国	(0.3) 4.6	(7.4) 9.1
製造業	県	(▲6.6) 6.8	(2.7) 14.4
	全国	(0.3) 4.4	(6.3) 11.0
非製造業	県	(▲1.4) 1.4	(1.5) 1.7
	全国	(0.4) 4.8	(8.5) 7.2

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成30年6月調査)」

<最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	96,613	109,021	86,688	123,341	63,422	162,014	179,797	136,094
前年同月比（%）	▲ 32.1	1.0	▲ 43.9	49.6	▲ 28.9	8.1	24.0	▲ 22.8
(参考) 全国前年同月比（%）	6.3	▲ 10.8	▲ 6.8	0.4	17.5	0.5	▲ 6.8	▲ 5.0

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	30年3月	30年6月	30年9月 (予測)
全 産 業	17	14	12
製 造 業	18	15	12
非 製 造 業	18	13	11
(参考) 全国 ・ 全産業	17	16	13

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成30年6月調査)」

5 輸出

6月 = 193,158百万円

*前年同月比： 10.4%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸出総額は193,158百万円で、前年同月比 10.4%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、二輪自動車類（前年同月比 12.6%減）が5か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 6.0%増）が4か月ぶり、エアコン（同 32.1%増）が2か月ぶり、自動車（同 8.0%増）が3か月連続、自動車の部分品（同 11.6%増）、科学光学機器（同 10.8%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、EU向け（前年同月比 16.0%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジア向け（同 18.5%増）が4か月連続、米国向け（同 9.2%増）が7か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出総額(百万円)	178,887	199,181	157,324	174,327	187,025	188,363	158,117	193,158
前年同月比(%)	9.5	5.4	5.5	▲4.7	▲5.1	▲1.8	5.6	10.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
原動機	▲2.6	3.2	10.8	13.8	▲6.9	▲1.7	▲5.9	6.0
エアコン	▲0.5	▲2.3	▲23.7	▲21.4	18.4	21.2	▲3.6	32.1
自動車	138.9	16.4	▲1.0	▲2.1	▲54.4	14.7	192.2	8.0
自動車の部分品	▲15.8	▲18.2	▲14.2	▲14.5	▲6.2	▲9.0	0.5	11.6
二輪自動車類	10.2	10.6	6.9	▲22.9	▲21.8	▲18.6	▲37.3	▲12.6
科学光学機器	30.7	51.8	20.1	▲9.0	▲2.4	▲1.6	43.5	10.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	7.3	6.4	10.6	▲8.2	1.2	0.1	5.1	18.5
米国	0.2	▲7.0	▲1.9	▲0.1	▲2.4	▲9.0	▲7.5	9.2
EU	23.4	20.9	4.3	▲9.7	▲20.1	▲2.4	17.4	▲16.0

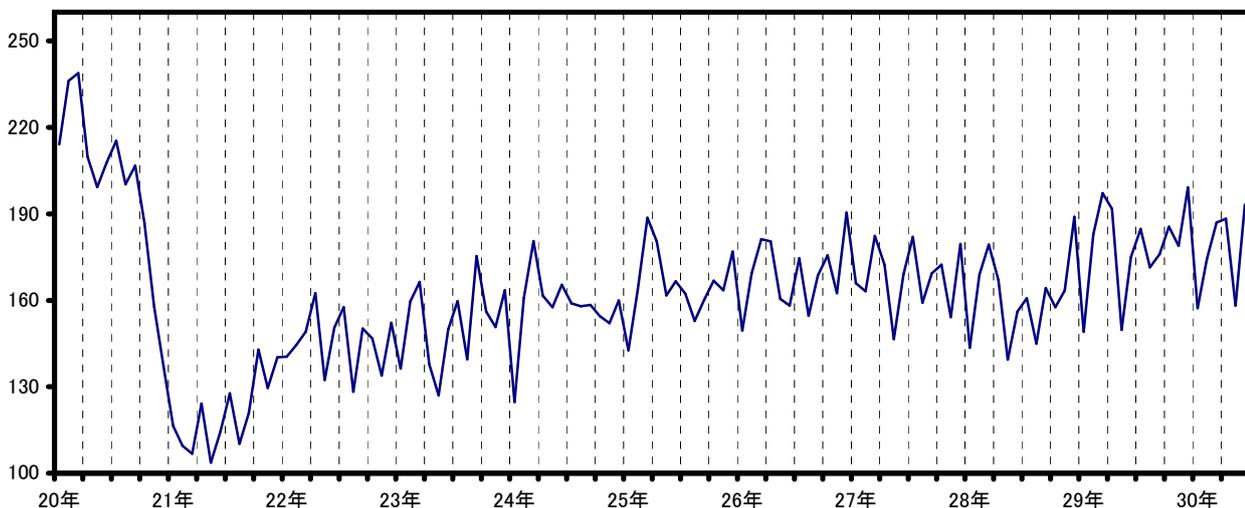
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

6月 = 87,817百万円

*前年同月比： 4.8%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸入総額は87,817百万円で、前年同月比 4.8%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 1.7%減）が6か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 2.9%増）、自動車の部分品（同 24.6%増）がいずれも3か月連続、パルプ（同 8.3%増）が8か月連続、紙類及び同製品（同 35.3%増）、原動機（同 8.7%増）がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、米国から（前年同月比 6.7%減）が2か月ぶり、EUから（同 1.5%減）が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、アジアから（同 1.9%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸入総額(百万円)	89,593	89,185	89,767	85,331	78,836	93,691	97,605	87,817
前年同月比(%)	9.6	15.5	6.3	18.6	▲13.0	18.9	21.5	4.8

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
魚介類及び同調製品	—	—	26.2	▲6.2	▲13.1	34.0	30.9	2.9
木材	64.8	▲3.3	3.8	7.9	5.5	10.7	13.5	▲1.7
パルプ	75.7	46.4	18.2	43.2	23.2	24.7	18.4	8.3
紙類及び同製品	33.1	▲24.2	2.5	4.2	▲4.1	▲2.6	44.8	35.3
原動機	▲29.1	1.6	▲40.2	▲67.3	▲21.4	▲27.6	109.2	8.7
自動車の部分品	▲4.6	▲26.9	1.0	27.1	▲20.7	10.0	7.9	24.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

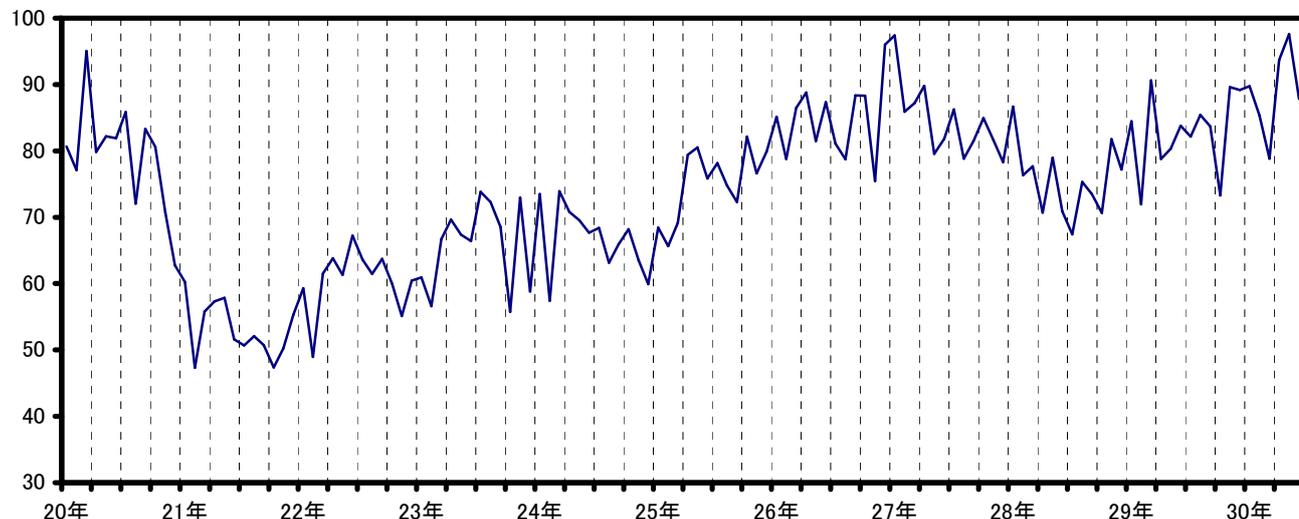
	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	12.0	11.7	0.9	21.8	▲11.8	11.2	27.6	1.9
米国	9.1	▲2.6	13.1	▲15.7	▲3.9	▲5.7	12.3	▲6.7
EU	5.9	22.3	42.3	▲23.6	4.9	20.0	10.1	▲1.5

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

5月 = 92.2

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 2.1%減

*前年同月比(原指数) : 1.4%増

<概況>

5月の鉱工業生産指数(総合)は92.2(季節調整済指数)で、前月比2.1%減となり、2か月連続で低下した。また、前年同月比(原指数)は1.4%増と2か月連続で前年水準を上回った。

業種別にみると、電気機械(前年同月比3.1%減)が4か月ぶり、食料品・たばこ(同4.2%減)が2か月ぶりに前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同3.1%増)が3か月連続、輸送機械(同0.8%増)が5か月ぶり、化学(同9.1%増)、パルプ・紙・紙加工品(同0.5%増)がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月
指数	96.3	92.6	95.7	90.9	93.8	96.0	94.2	92.2
前月比(%)	3.3	▲3.8	3.3	▲5.0	3.2	2.3	▲1.9	▲2.1
前年同月比(%)	9.6	2.8	3.2	▲1.1	▲2.0	▲2.1	0.6	1.4
(参考)全国前年同月比(%)	5.9	3.7	4.2	2.7	1.4	2.2	2.5	4.2

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	19.5	▲1.6	▲1.8	▲9.3	▲4.8	7.4	8.7	3.1
電気機械工業	5.5	▲3.9	▲1.4	▲3.2	1.6	3.8	1.1	▲3.1
輸送機械工業	20.2	10.6	6.1	▲1.6	▲8.2	▲10.3	▲4.6	0.8
化学工業	10.0	6.4	8.0	0.8	▲0.7	2.7	▲1.9	9.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲1.5	1.5	1.8	2.2	▲2.7	0.8	▲2.4	0.5
食料品・たばこ工業	▲3.4	▲8.4	0.4	▲2.1	7.2	▲2.2	10.5	▲4.2

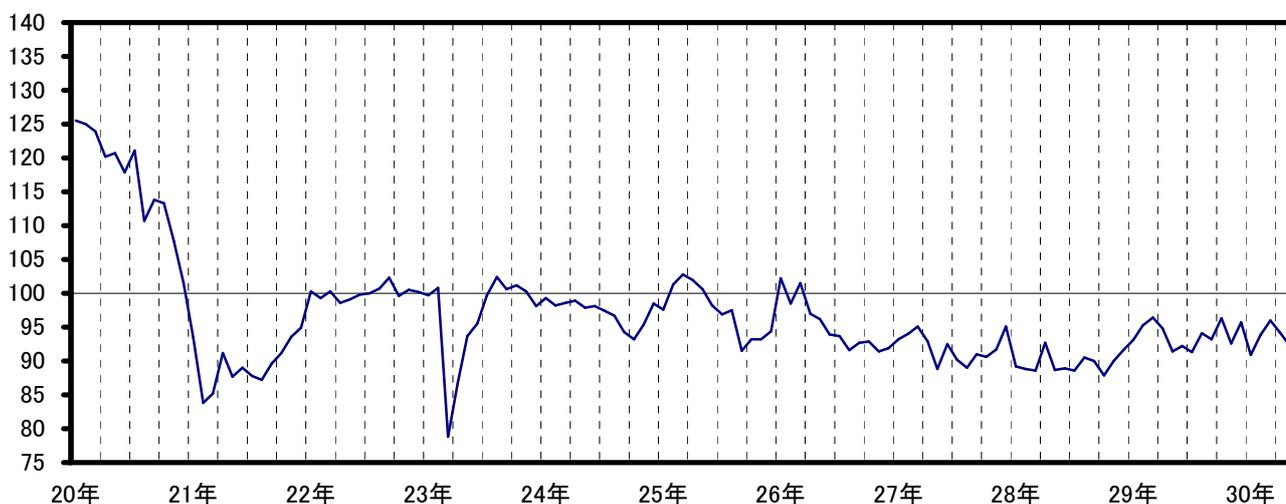
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

5月 = 125.9

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.7%増

*前年同月比(原指数) : 10.2%増

<概況>

5月の鋳工業在庫指数(総合)は125.9(季節調整済指数)で、前月比は0.7%増と2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は10.2%増と8か月連続で前年水準を上回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、電気機械(前年同月比1.4%減)が2か月ぶり、輸送機械(同11.6%減)が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同10.0%減)が11か月連続で前年水準を下回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同7.1%増)が5か月連続、化学(同60.5%増)が12か月連続、食料品・たばこ(同0.4%増)が6か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月
指数	116.6	114.5	115.5	117.9	125.2	127.8	125.0	125.9
前月比(%)	4.9	▲1.8	0.9	2.1	6.2	2.1	▲2.2	0.7
前年同月比(%)	5.3	4.9	8.9	4.8	4.9	8.1	7.1	10.2
(参考)全国前年同月比(%)	1.9	2.8	2.0	1.4	1.6	4.1	1.9	2.5

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	3.9	▲8.9	▲0.2	3.0	6.7	5.4	8.3	7.1
電気機械工業	16.7	19.7	22.1	10.6	7.9	▲3.2	4.9	▲1.4
輸送機械工業	6.0	20.3	36.6	9.2	▲5.7	▲7.8	▲13.7	▲11.6
化学工業	23.9	25.4	24.3	26.9	27.6	50.8	48.0	60.5
パルプ・紙・紙加工品工業	▲9.7	▲6.9	▲4.1	▲6.1	▲10.3	▲8.6	▲9.4	▲10.0
食料品・たばこ工業	12.9	▲4.0	7.7	10.1	11.8	2.8	3.0	0.4

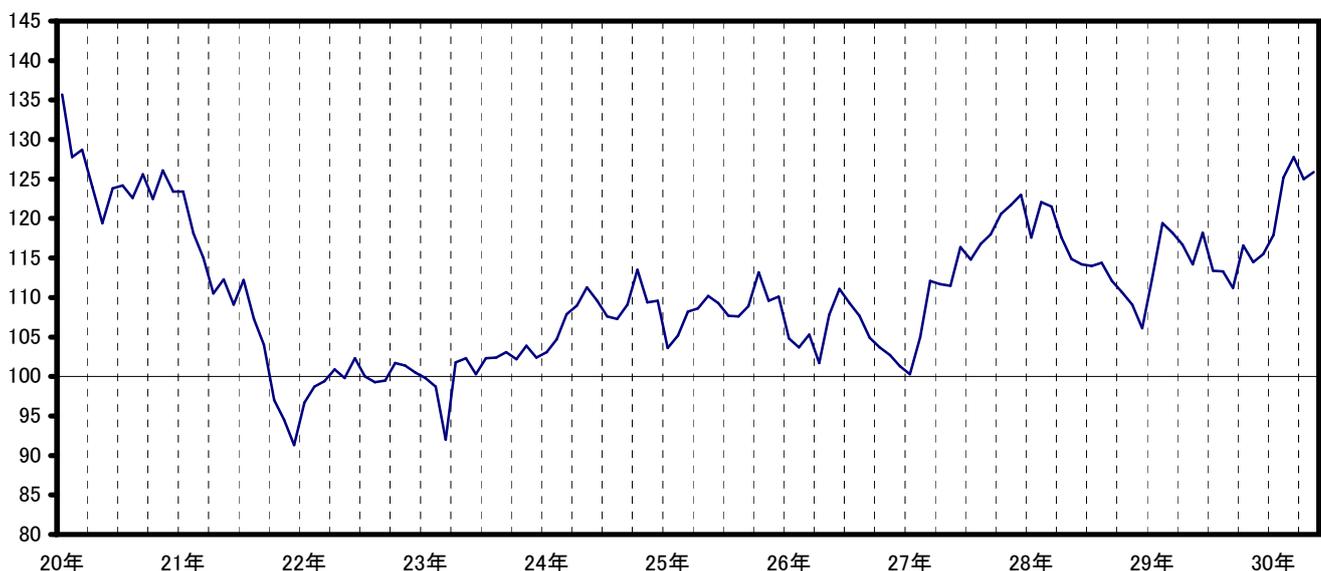
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

6 月 = 1.72倍

*前月比（季節調整値）： 0.02ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

6月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.72倍となり、前月を0.02ポイント上回った。また、16か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 3.9%増）は29か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、医療・福祉（前年同月比 3.8%減）が22か月ぶりに前年実績を下回ったものの、建設業（同 3.9%増）、卸売業・小売業（同 1.2%増）がいずれも4か月連続、製造業（同 0.3%増）が32か月連続、情報通信業（同 24.4%増）が2か月ぶり、運輸業・郵便業（同 22.9%増）が20か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 1.4%増）が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
県	1.60	1.61	1.61	1.65	1.66	1.68	1.70	1.72
全 国	1.56	1.59	1.59	1.58	1.59	1.59	1.60	1.62

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建 設 業	10.5	7.8	8.7	▲ 1.8	8.5	0.1	4.5	3.9
製 造 業	14.9	22.1	12.3	10.7	16.5	21.3	26.2	0.3
情 報 通 信 業	▲ 17.6	16.7	17.6	▲ 19.3	▲ 13.2	11.2	▲ 16.5	24.4
運 輸 業 ・ 郵 便 業	7.0	17.6	3.6	13.8	11.5	4.3	16.1	22.9
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 1.9	▲ 0.3	▲ 1.7	▲ 5.2	3.2	0.7	5.9	1.2
医 療 ・ 福 祉	11.3	15.1	5.2	8.7	5.1	3.1	4.0	▲ 3.8
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 5.8	13.6	2.3	13.5	▲ 1.5	▲ 5.9	28.4	1.4
合 計	5.9	14.0	5.5	6.8	7.7	2.1	14.2	3.9

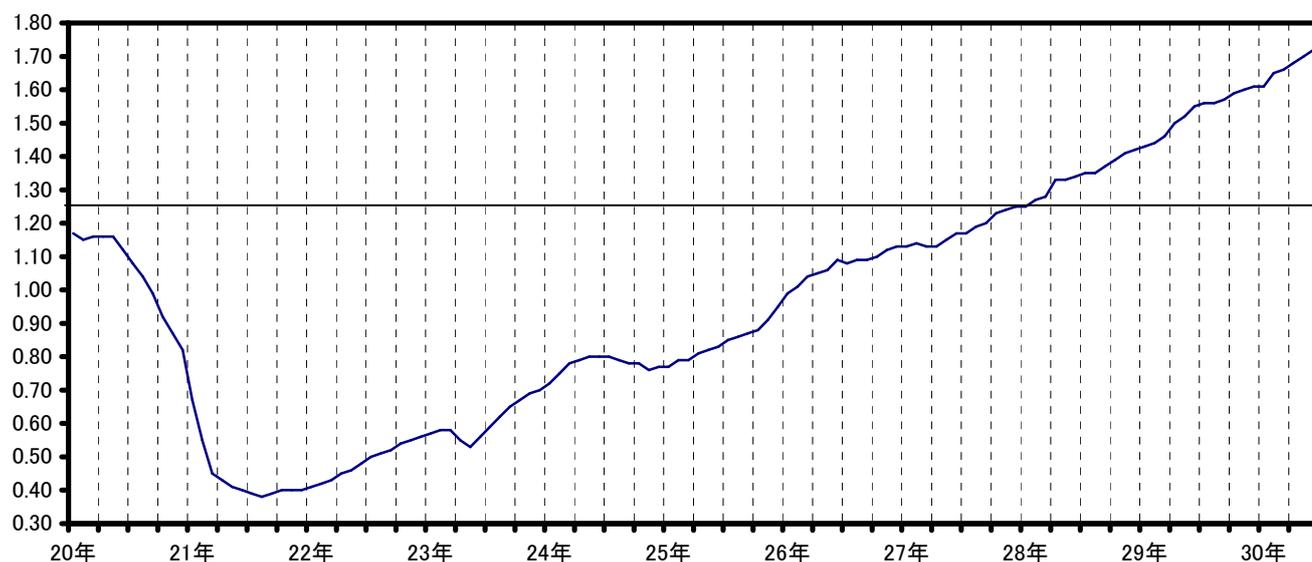
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

6月 = 10,513人

*前月比: 3.0%減

*前年同月比: 4.6%減

<概況>

6月の雇用保険受給者実人員は10,513人で、前月比は3.0%減と2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比は4.6%減と59か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.4%で、前月から0.2ポイント悪化した。
 静岡県(平成30年1~3月)の完全失業率は2.0%で、前期(29年10~12月)から0.2ポイント改善した。

<最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実人員(人)	10,848	10,275	10,153	9,629	9,460	9,236	10,839	10,513
前月比(%)	▲2.4	▲5.3	▲1.2	▲5.2	▲1.8	▲2.4	17.4	▲3.0
前年同月比(%)	▲6.4	▲5.9	▲5.3	▲5.3	▲5.7	▲3.1	▲0.5	▲4.6
(参考)全国前年同月比(%)	▲3.3	▲4.7	▲4.1	▲5.4	▲6.5	▲3.5	▲0.9	▲5.2

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完全失業率(全国)(%)	2.7	2.7	2.4	2.5	2.5	2.5	2.2	2.4

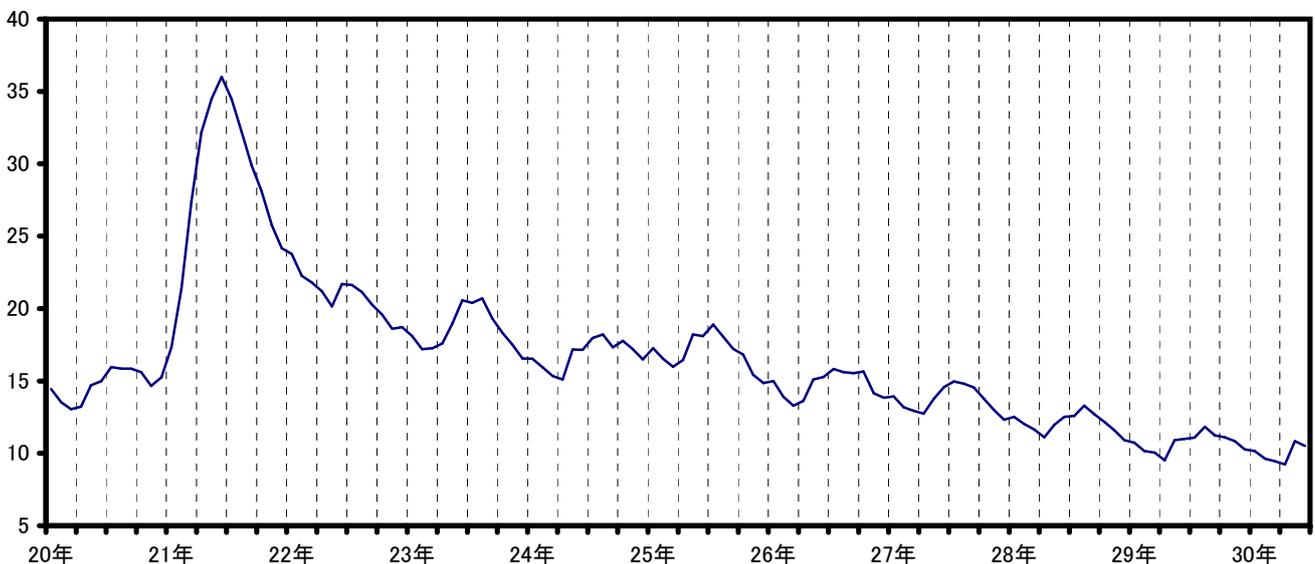
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

5月 = 97.1

*前月比(季節調整済指数): 5.5%増

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 6.2%減

<概況>

5月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は97.1(季節調整済指数)で、前月比5.5%増となった。また、前年同月比(原指数)は6.2%減と6か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比284.8%増)が8か月ぶり、情報通信業(同83.7%増)が7か月連続、その他のサービス業(同15.1%増)が5か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同7.9%減)が6か月連続、運輸業・郵便業(同10.7%減)が3か月連続、卸売業・小売業(同7.1%減)が12か月ぶり、医療・福祉(同26.2%減)が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月
指数	105.0	106.8	98.9	91.3	94.2	91.6	92.0	97.1
前月比(%)	▲1.3	1.7	▲7.4	▲7.7	3.2	▲2.8	0.4	5.5
前年同月比(%)	2.0	6.1	▲1.3	▲9.6	▲8.8	▲10.2	▲11.1	▲6.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.2	▲0.1	0.6	▲2.4	▲2.3	▲1.6	▲1.5	0.8

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月
建設業	▲26.9	▲10.8	▲1.6	▲16.2	▲48.4	▲51.0	▲17.2	284.8
製造業	1.3	9.5	▲1.2	▲8.9	▲8.3	▲11.4	▲6.0	▲7.9
情報通信業	▲3.2	2.3	6.6	48.2	69.8	65.9	27.9	83.7
運輸業・郵便業	▲5.1	▲13.2	▲11.4	▲7.6	2.9	▲3.5	▲7.1	▲10.7
卸売業・小売業	46.9	14.8	11.5	19.0	28.0	19.0	26.8	▲7.1
医療・福祉	▲12.9	9.2	11.5	8.4	▲1.5	▲5.3	▲8.0	▲26.2
その他のサービス業	38.8	26.0	▲4.7	60.6	46.0	29.1	43.4	15.1
調査産業計	2.0	6.1	▲1.3	▲9.6	▲8.8	▲10.2	▲11.1	▲6.2

*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

7 月 = 101.8

(平成27年=100)

*前 月 比: 0.5%上昇

*前年同月比: 3.1%上昇

<概 況>

7月の国内企業物価指数は101.8となり、前月比は0.5%の上昇となった。また、前年同月比は3.1%の上昇となった。

<最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内企業物価指数	100.0	100.3	100.4	100.3	100.5	101.1	101.3	101.8
前 月 比 (%)	0.2	0.3	0.1	▲ 0.1	0.2	0.6	0.2	0.5
前年同月比 (%)	3.0	2.7	2.6	2.1	2.1	2.7	2.8	3.1

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

6 月 = 139,354億円

(銀行、信用金庫)

*前 月 比: 0.5%増

*前年同月比: 0.1%増

<概 況>

6月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は139,354億円で、前月比は0.5%の増加、前年同月比は0.1%の増加となった。

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出残高(億円)	139,604	141,576	139,613	139,486	140,606	139,122	138,727	139,354
前 月 比 (%)	0.3	1.4	▲ 1.4	▲ 0.1	0.8	▲ 1.1	▲ 0.3	0.5
前年同月比 (%)	1.7	1.8	1.3	1.2	0.6	0.4	0.2	0.1

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

6 月 = 2.022%

(県内地銀4行総平均)

*前 月 差: 0.026ポイント減

*前年同月差: 0.101ポイント減

<概 況>

6月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.022%で、前月から0.026ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.101ポイントのマイナスとなった。

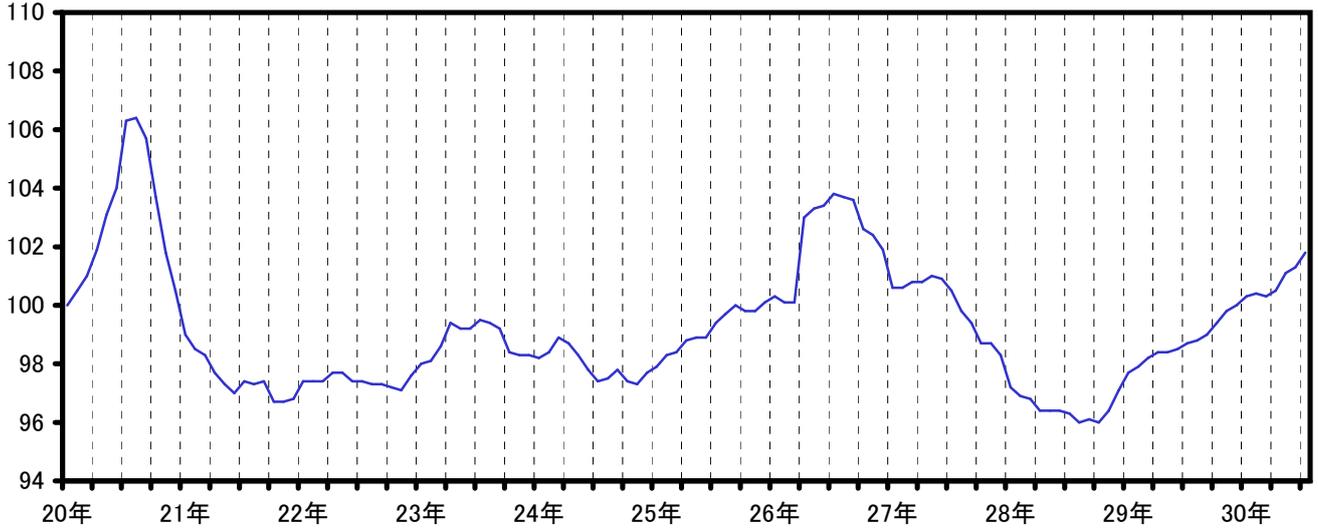
	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出約定金利 (%)	2.117	2.098	2.106	2.100	2.072	2.070	2.048	2.022
前月差(ポイント)	▲ 0.006	▲ 0.019	0.008	▲ 0.006	▲ 0.028	▲ 0.002	▲ 0.022	▲ 0.026
前年同月差(ポイント)	▲ 0.029	▲ 0.026	▲ 0.028	▲ 0.038	▲ 0.056	▲ 0.063	▲ 0.083	▲ 0.101

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

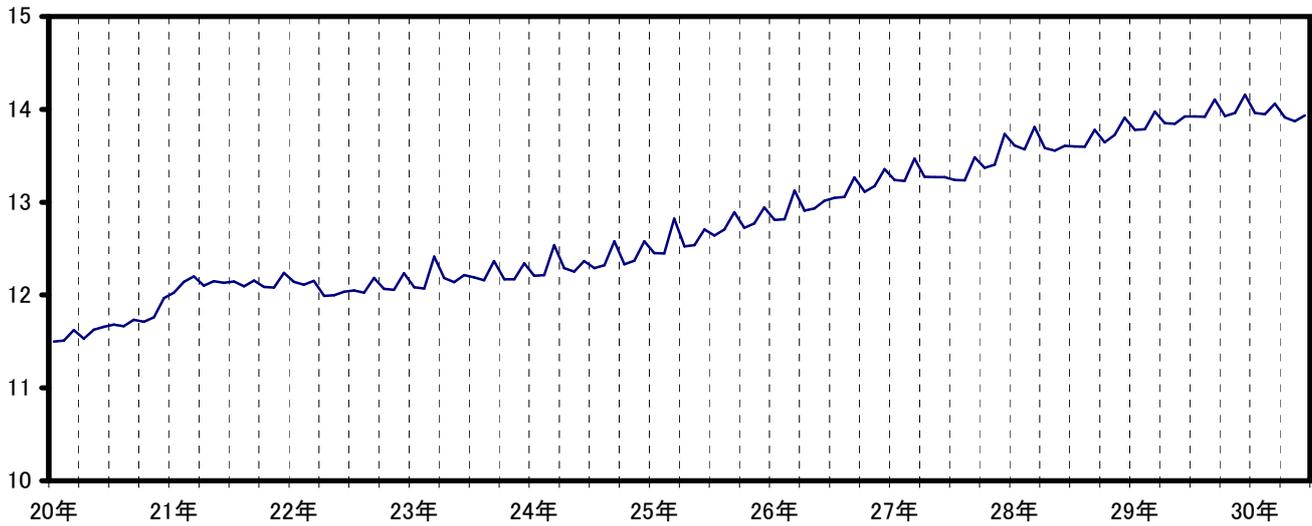
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



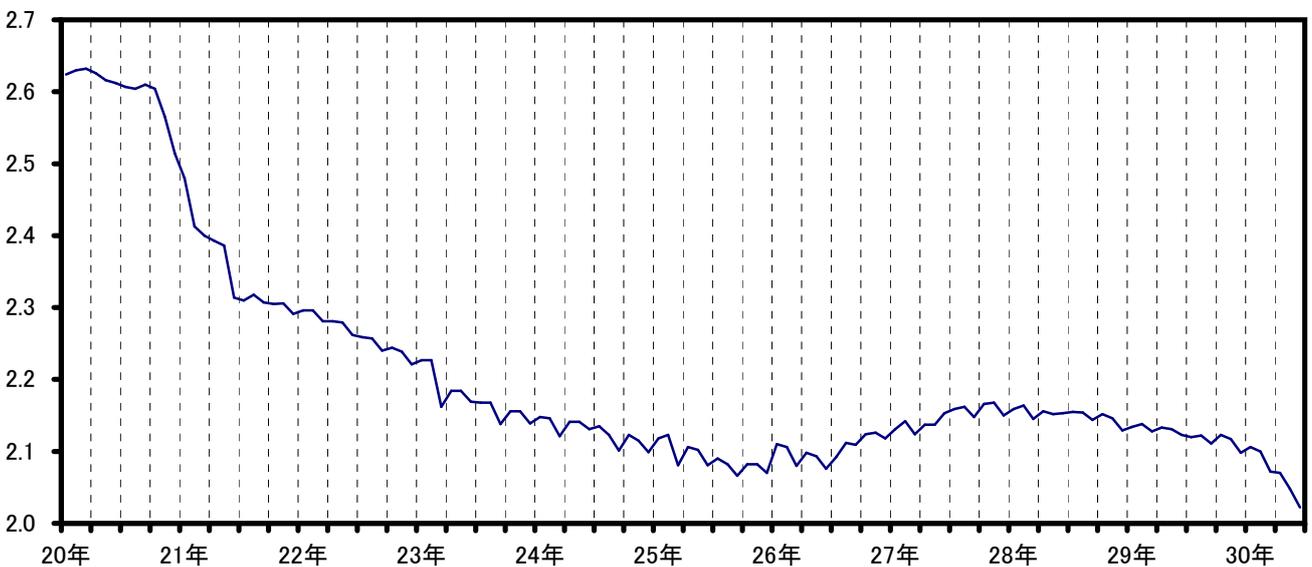
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**6月 = 18,336百万円**

*前年同月比： 4.9%減

<概況>

6月の保証承諾は、金額は18,336百万円（前年同月比 4.9%減）、件数は1,958件（同 1.4%減）と、いずれも3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	29年11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
保証金額（百万円）	20,201	23,366	13,633	17,320	24,143	12,080	17,993	18,336
前年同月比（%）	4.7	▲ 4.0	▲ 3.0	▲ 4.7	▲ 7.3	3.3	27.2	▲ 4.9
保証件数（件）	1,930	2,317	1,486	1,824	2,314	1,421	1,786	1,958
前年同月比（%）	2.2	▲ 1.9	▲ 1.2	0.3	▲ 4.1	3.0	11.1	▲ 1.4

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**7月 = 111.37円/ドル**

*前月差： 1.34円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 1.07円高

<概況>

7月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は111.37円で、前月と比べて1.34円の円安となり、4か月連続の円安となった。

<最近の動き>

	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
平均相場（円）	112.97	110.77	107.82	106.00	107.43	109.69	110.03	111.37
前月差（円）	0.05	▲ 2.20	▲ 2.95	▲ 1.82	1.43	2.26	0.34	1.34
前年同月差（円）	▲ 2.98	▲ 3.96	▲ 5.24	▲ 7.01	▲ 2.63	▲ 2.52	▲ 0.88	▲ 1.07

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****7月 = 16件**

*前年同月比： 40.7%減

<概況>

7月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は16件（前年同月比 40.7%減）、負債総額は2,099百万円（同 33.5%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が15件と全体の93.8%を占め、248か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

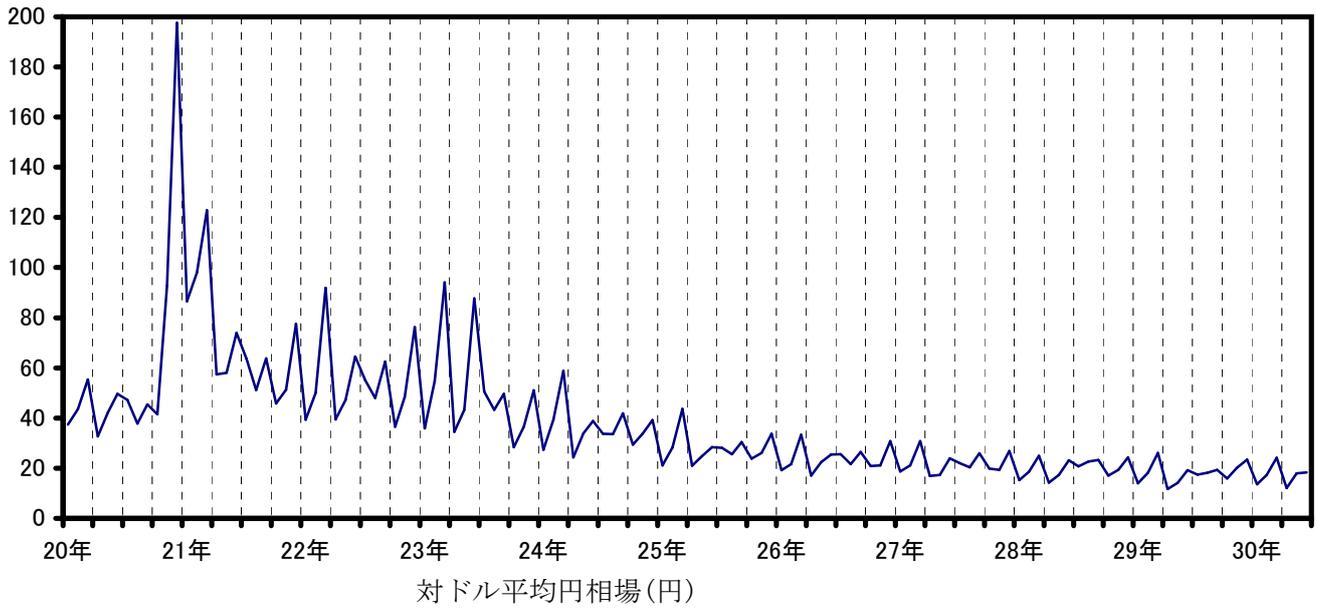
	29年12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
倒産件数（件）	15	18	22	26	12	24	27	16
前年同月比（%）	▲ 57.1	12.5	22.2	▲ 16.1	▲ 47.8	33.3	17.3	▲ 40.7
うち不況型倒産件数（件）	13	17	20	25	10	23	22	15
負債総額（百万円）	1,255	2,369	2,688	3,065	2,113	3,066	5,345	2,099
前年同月比（%）	▲ 77.9	40.4	▲ 65.4	▲ 57.7	▲ 68.0	31.1	81.8	▲ 33.5

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

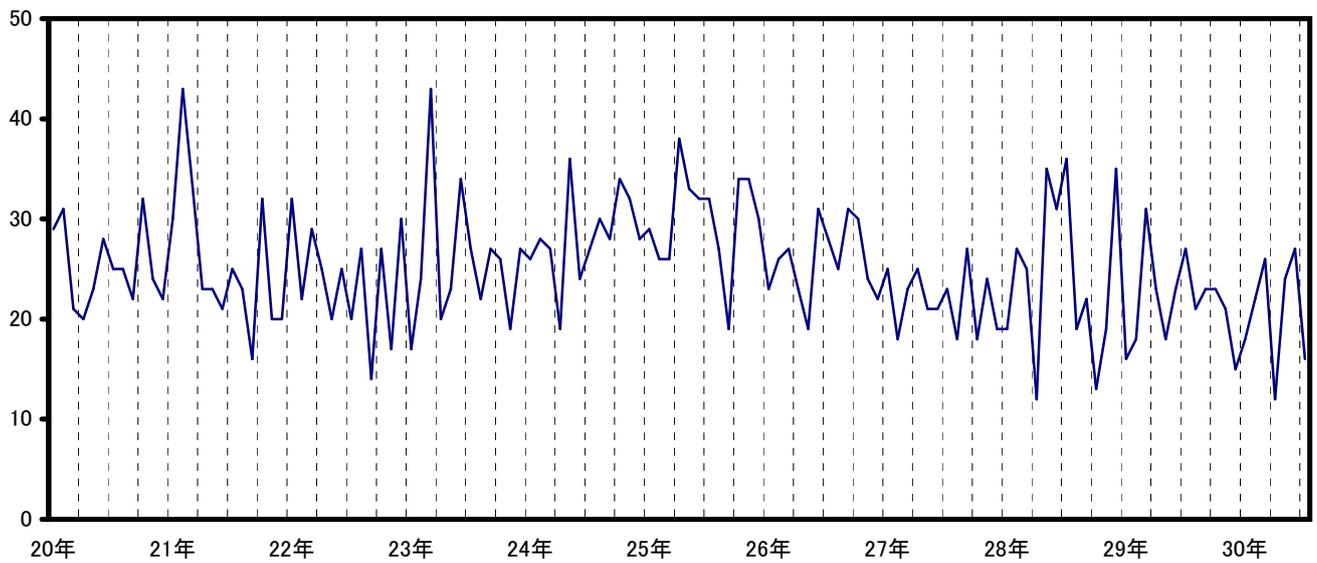
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成30年6月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>5月の国内二輪車生産台数は、51,950台（前年同月比 1.6%増）と、8か月ぶりに前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、12,812台（同 21.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、5,542台（同 141.0%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、5,196台（同 44.3%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、28,400台（同 2.0%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、29,032台（同 5.6%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。輸出向けは、28,857台（同 10.2%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>5月の自動車国内生産台数は、725,216台（前年同月比 4.6%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。なお、輸出は344,875台（同 7.7%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラック、乗用車がいずれも4か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>6月の冷蔵庫の国内出荷額は524億円（前年同月比 4.9%増）と、2か月連続で前年実績を上回り、国内出荷台数は437千台（同 2.2%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>6月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,568千台（同 0.5%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。業務用は84千台（同 1.6%増）と、15か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>5月の携帯電話の国内出荷台数は、1,080千台（同 30.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、770千台（同 24.5%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は 71.2%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>6月の工作機械の受注総額は、1,592億9,300万円（前年同月比 11.4%増）と、19か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は963億1,300万円（同 9.1%増）と、19か月連続で前年実績を上回った。アジア向けは450億3,300万円（同 3.9%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。内需は629億8,000万円（同 15.1%増）と、17か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「人員不足により、外国人を雇用する企業が多くなってきた」という声や「材料費及び塗装費が上昇している」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>6月の県内楽器メーカーの販売金額は、50億3,049万円（前年同月比 10.4%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが25億4,715万円（同14.6%減）、国内向けが24億8,334万円（同 5.5%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,949台（同 6.4%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,938台（同 9.7%減）、グランドピアノが1,011台（同 0.5%増）だった。また、販売台数は、輸出向けが2,238台（同 6.2%減）、国内向けが1,012台（同10.1%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>6月の紙・板紙の国内出荷高は、2,023千ト（前年同月比 2.8%減）と、11か月連続で前年実績を下回った（※1）。内訳は、紙は1,062千ト（同 4.0%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。板紙は961千ト（同 1.5%減）と、20か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、579千ト（同 5.2%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、149千ト（同 0.7%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った（※2）。</p> <p>※1 5月実績について、速報値では「10か月ぶりに増加」と発表したが、確報値では、「10か月連続で前年実績を下回った」に訂正された。</p> <p>※2 5月実績について、速報値では「4か月ぶりに増加」と発表したが、確報値では、「4か月連続で前年実績を下回った」に訂正された。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>6月の県内生産量は、食缶類が国内向け963千箱（前年同月比 3.6%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は667千箱（同 5.0%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は494千箱（同 6.2%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は296千箱（同 0.3%減）と、12か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,394千箱（同 7.2%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡缶詰協会</p>
織 維	<p>6月の広幅織物の県内生産は、1,177千㎡（前年同月比 3.5%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,101千㎡（同 2.1%増）と、20か月ぶりに前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、76千㎡（同 28.6%増）と、9か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、28千㎡（同 4.6%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>6月の全国百貨店での家具販売額は、49億5,197万円（前年同月比 5.6%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、571億812万円（同 0.1%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>6月の県内百貨店・スーパーの販売額は、33,375百万円（既存店前年同月比0.1%減）と前年実績を下回った。品目別では、「衣料品」、「身の回り品」、「その他の商品」の販売額が前年実績を上回ったものの、「家庭用品」、「食堂・喫茶」は前年実績を下回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りでは、ドラッグストア等の競合店が近隣に進出したことなどにより、来客数、売上ともに減少していた。品目別では、特に鮮魚は、不漁や客の魚離れが進んでいること等から売上が伸びなかった。</p> <p>また、中部の百貨店への聞き取りによると、クリアランスセールを前倒しして実施した影響で、衣料品、身の回り品の売上が増加していた。県内の専門店への聞き取りによると、土曜日が1日多かったことや衣料品のセールが好調だったこと等から売上は増加していた。</p> <p>6月は、ニッポンおかみさん会全国フォーラムが掛川市で開催され、全国から商店主らが集まり、地方都市の特色を生かした商売やまちづくりを考えた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>6月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約30万人と、前年同月比17.5%減だった。</p> <p>工事による休館や、例年実施しているイベントの中止などの影響を受け、来場者数が減少した施設がみられた。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は約66万台と、前年同月に比べて2.1%減だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完成車生産台数(台)	16,922	16,792	13,704	13,173	20,900	19,397	16,231	14,242	15,413
前年同月比(%)	▲15.8	▲30.8	▲30.9	▲31.3	▲5.3	▲30.2	▲25.2	▲26.9	▲10.9
KD輸出額(百万円)	603	606	531	539	650	515	752	574	570
前年同月比(%)	4.4	▲15.7	▲25.8	▲24.3	▲7.8	▲20.9	10.6	▲9.7	▲20.1

<楽器>

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産総額(百万円)	3,305	3,334	3,298	2,534	2,905	3,072	3,111	2,565	3,178
前年同月比(%)	▲10.6	▲8.3	0.1	▲17.8	▲13.8	▲17.5	▲8.6	▲27.8	▲14.8

<缶詰>

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
食缶生産高(千ケース)	967	992	894	806	878	1,007	946	960	963
前年同月比(%)	▲5.0	2.3	9.6	▲2.4	1.4	1.1	▲2.0	8.1	▲3.6
うち水産缶詰(%)	▲8.6	▲0.8	7.7	▲4.2	▲0.5	▲5.2	▲5.8	0.1	▲5.0
農畜産缶詰(%)	5.2	10.9	14.3	2.0	5.5	15.7	7.1	31.1	▲0.3
飲料缶生産高(千ケース)	5,945	6,345	5,513	4,694	5,196	6,952	6,871	8,024	7,394
前年同月比(%)	▲9.4	▲4.5	▲7.9	▲4.9	▲9.8	▲4.2	▲15.7	▲4.4	▲7.2

<繊維>

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
広幅織物(千㎡)	1,493	1,679	1,589	1,515	1,333	1,332	1,274	1,176	1,177
前年同月比(%)	▲1.9	▲0.8	▲6.2	▲3.1	▲3.3	0.8	▲4.8	0.5	3.5
小幅織物(千㎡)	32	32	33	32	35	34	31	30	28
前年同月比(%)	2.5	▲0.6	▲1.1	▲3.8	▲0.5	1.4	▲6.7	▲7.6	▲4.6

<観光>

	29年10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	4月	5月	6月
観光施設(10施設)入込 (千人)	331	374	251	287	263	512	515	536	302
前年同月比(%)	▲23.3	7.2	▲10.2	▲0.2	▲1.7	5.9	1.5	▲15.9	▲17.5
有料道路(5路線)通行量 (千台)	670	735	725	639	625	783	699	719	656
前年同月比(%)	▲5.7	4.8	▲2.2	▲5.7	▲9.2	0.7	▲0.1	▲5.2	▲2.1

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成30年8月号 通巻508号

発行 静岡県経済産業部
平成30年8月

編集 経済産業部産業革新局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>